産業の動向

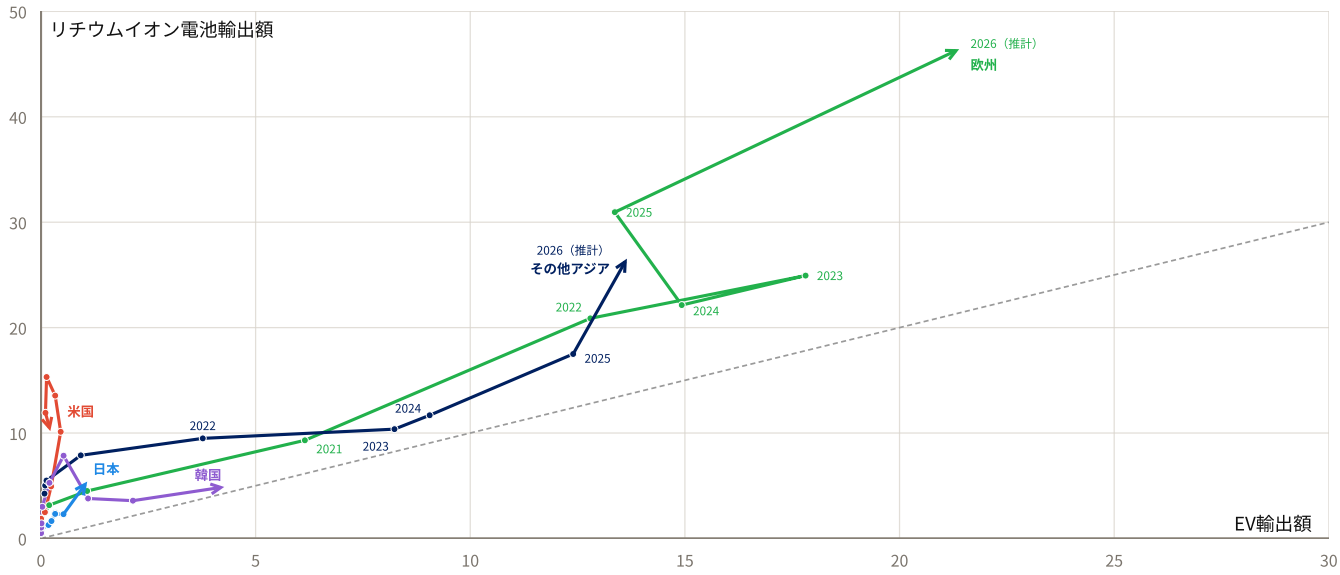
中国のリチウムイオン電池輸出、EVを上回る規模で拡大

EM2621で示した中国の電気自動車（BEV）輸出の拡大に加え、リチウムイオン電池輸出も急速に拡大している。2026年の推計では、欧州および日本・韓国を除くアジア向けの電池輸出額はBEV輸出額の約2倍に達する。欧州向けでは2023–25年にBEV輸出額が減少する一方、電池輸出額は2025年に大きく増加した。日韓を除くアジア向けでも、2025年以降は電池輸出額の増加が顕著である。一方、米国向けの電池輸出額は2024年をピークに減少している。日本向けでは電池輸出額がBEVを大きく上回る一方、韓国向けでは両者の規模が接近している。IEA（2026）によれば、2025年のEV購入に対する政策支援額は欧州で110億ドルを超え、東南アジアでも約60億ドルに達した。定置用蓄電池の導入にも各国で政策支援がなされており、こうした政策による需要創出は、中国の完成車のみならず電池の輸出拡大をも支えているとみられる。

野村浩二・稲場翔（慶應義塾大学産業研究所） 2026年11月27日

欧州・アジア向けの電池輸出が急拡大する一方、米国向けは減少

2017–2026年における中国のEV輸出額とリチウムイオン電池輸出額の相手国・地域別推移（年次）



単位：十億米ドル。出典：中国海関総署（GACC）Customs Statistics（2026年11月20日公表）。
注：EVはHS870380（電動機のみで推進する乗用車）、リチウムイオン電池はHS850760（リチウムイオン蓄電池）により定義。欧州はEU加盟27か国と英国、その他アジアは日本・韓国を除くアジア。2026年（矢印の先）は、2025年の値に2026年1–10月の前年同期比を乗じた推計値。破線は両者の輸出額が等しくなる均等線を示す。リチウムイオン電池にはEV用のほか、定置用蓄電池なども含まれ、用途別の識別はできない。

エネルギーモニターについて

エネルギーモニター（Energy Monitor：EM）は、主要国のエネルギーコスト・需給、産業およびマクロ経済の動向を紹介するニュースレターです。分析は、エネルギーコスト・モニタリング（Energy Cost Monitoring：ECM）が毎月公表するECM Database、およびその基礎資料となる国内外の公的統計に基づきます。掲載する各指標は、基礎データの更新・拡充や推計方法の改善に伴い、今後改訂される場合があります。

リンク

エネルギーモニター

ECM Japan

ECM Dashboard

エネルギーモニターのバックナンバーおよびニュースレター配信の登録は専用サイト、ECM各種指標の国内動向はECM Japan、国際比較はECM Dashboardをご覧ください。